

(2) 減少した植物の増殖を目的とした採種と播種作業

① 減少した植物（樹木を除く）

その多くが湿潤な土壌を好んで生育する湿生植物である。減少した要因は土壌の乾燥化にあると考えられる。また、このように多数の湿生植物が減少していることから、土壌の乾燥化の起きていることが指摘されている。

(註) 種名 は、これまでに採種と播種（一部株分け）を実施した植物

- 減少傾向の著しい植物： コウヤワラビ・イヌビエ・ウシノシッペイ・ヌカキビ・タマミゾイチゴ
ツナギ・オニユリ・ヤブラン・ハンゲショウ・ウマノスズクサ・サクラタデ・オオイヌタデ・イシ
ミカワ・ママコノシリヌグイ・アキノウナギツカミ・ミゾソバ・ヒキノカサ・クサノオウ・ギシギ
シ・ムラサキケマン・ミツバツチグリ・ヤブツルアズキ・レンリソウ・ツルフジバカマ・クサフジ・
ゲンノショウコ・ツボスミレ・アギスミレ・アリアケスミレ・ノジスミレ・セリ・チョウジソウ・
ガガイモ・メハジキ・シロネ・ミゾコウジュ・イヌゴマ・ウリクサ・ゴマノハグサ・ハナムグラ・
アカネ・ノコンギク・ヤブタバコ・オオジシバリ・イワニガナ
- 消失が危惧される植物： アカハナワラビ・ミドリヒメワラビ・シケシダ・ノキシノブ・トダスゲ
・アオスゲ・アゼナルコ・マスクサ・ヤガミスゲ・コジュズスゲ・カラスビシャク・イグサ・ミミ
ナグサ・ノダイオウ・ケキツネノボタン・クララ・オトギリソウ・トモエソウ・シムラニンジン・
エキサイゼリ・ノジトラノオ・キレザキサクラソウ・バアソブ・ヒメヨモギ・フジバカマ・ノニガ
ナ・カントウヨメナ・シロバナタンポポ

② 採種と播種作業による増殖の成果

これまでに、上記の 種名 内に示した植物について、採種して播種する方法と、株分けによる方法等によって増殖を図ってきた。それぞれの植物について実施した増殖の方法とその成果を示す。

種名	増殖方法	成果	備考
オニユリ	珠芽を採取し蒔く	元 10 個体が約 10 倍に増殖	消滅の危機を脱した
ハンゲショウ	株分けをする	1 群落を新たに形成	種子繁殖を促したい
ウマノスズクサ	株分けをする	1 群落を新たに形成	開花するが結実しない
ママコノシリヌグイ	採種して播種する	毎年 20 株ほどの生育を確保	まだ消滅の危機にある
ヒキノカサ	採種して播種する	元数株から 100 株ほどに増殖	群落形成を促したい
クサノオウ	採種して播種する	元数株から 30 株ほどに増殖	自然増殖を始めた
ミツバツチグリ	株分けによる	2 群落を新たに形成	さらに数群落の形成が必要
ツルフジバカマ	採種して播種する	成果なし	播種後の発芽不良
チョウジソウ	採種して播種する	10 個体の増殖に成功	播種後の発芽不良
ミゾコウジュ	採種して播種する	毎年の群落形成に成功	群落形成に裸地の確保が必要
ノコンギク	株分けによる	新たな 1 群落を形成	さらに数群落の形成が必要
トダスゲ	採種して播種する	元 2 株から 5 群落を形成	近親交配繁殖の心配あり